

知床の森から

平成23年3月 第130号



知床森林センター広報誌

北海道森林管理局 知床森林センター

〒099-4355 北海道斜里郡斜里町ウトロ東(国設知床野営場内)

電話 0152-24-3466 FAX 0152-24-3477

ホームページ <http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/siretoko/index.html>



2011・国際森林年



■写真:フレペの滝周辺の森林とイベント(3月5日開催)参加者の作品

第105回 森林レクリエーションin知床・2011国際森林年

「森林散策をしながら知床を撮ろう～フレペの滝周辺～」

3月5日(土)「森林散策をしながら知床を撮ろう～フレペの滝周辺～」を開催しました。今回は北見市、網走市などから25名の方が参加し、オホーツク海から垂直に切り立った断崖の「フレペの滝」周辺に広がる知床ならではの原生的な森林や開拓跡地の二次林の中を、デジタルカメラで撮影しながら、全長約3kmのコースを散策しました。

はじめに地元アマチュアカメラマンを講師にデジカメ撮影のレクチャーを行った後、現地に向かいかんじきを履いて森林散策をスタート。コース上では、ヒグマの爪痕やクマゲラの食痕、樹木の冬芽やエゾシカによる樹皮食害などを間近で観察し、また、開拓跡地における森林の変化の様子や天然更新の仕組みを説明するとともに、知床における森林管理についても知っていただきました。

写真撮影では、影を使った森林の撮り方や、青空と樹木の撮り方などの解説を受けながら、各人のセンスで思い思いに撮影。氷瀑や冬のオホーツク海ならではの流氷を写真に収めることもできました。

散策の後、それぞれが撮った写真にタイトルを付け、鑑賞会を行いました。「レベルの高いでき」と講師の講評をいただくなど、皆さんの力量ある写真が並びました。参加者からは「まさに知床の森林を歩いた!という感じがする」「冬ならではの滝が見られてよかった」「かんじきで歩く体験が新鮮だった」等の感想が聞かれ、冬ならではの森林を楽しんでいただけた様子でした。

なお、参加者の撮影した写真は、当センターにて3月末日まで展示しています。



冬のイベントレポート

知床の山々は雪をかぶりオホーツク海が流氷で覆われた冬。知床森林センターで開催されたイベントを紹介します♪

第104回 森林レクリエーションin知床・2011国際森林年

「冬ならではの!!静寂の森を歩くスキーで散策しよう」

2月9日(水)、オシンコシン上周辺国有林にて「冬ならではの!!静寂の森を歩くスキーで散策しよう」を開催し、北見市、網走市、地元斜里町などから19名が参加しました。

今回のイベントは、知床の森を歩くスキーで散策し、春を待つ樹木の姿や雪に残る野生動物の痕跡等を観察しながら、冬の森林の魅力に触れていただこうと企画したもので、散策箇所は樹種も豊富で大木も多く、知床の原生的な森林を体感することができました。

はじめにイチイの林木遺伝資源保存林で、エゾシカによる樹皮の食害の状況や、それを防止するための防鹿柵、ネット巻きについて観察しました。続いて、樹齢数百年にもなるミズナラの大木や、クマゲラなどの食痕で穴だらけになりながらも力強く生きるハルニレなどを観察し、知床の森林の生命力を感じながらの散策となりました。また、コースからはオホーツク海に広がる流氷も見え、見渡す限りの流氷の海と雪化粧の知床連山の美しさに感嘆の声があがっていました。

参加者からは「知床ならではの大きな木を見たり、森の様子を知ることができて良かった」などの感想が聞かれ、知床の冬の森林の魅力を感じていただけた様子でした。



冬の厳しさに耐える樹木や林木遺伝資源保存林の解説を聞く参加者の皆さん 流氷と知床連山をバックに記念撮影

ロングランイベント

「お父さんお母さんの木工体験月間」 & 「かんじきで冬の森林散策」



知床森林センターの冬のロングランイベントとして、2月1日～28日の間「お父さんお母さんの木工体験月間」、1月27日～3月15日の間「かんじきで冬の森林散策」を開催しました。

木工体験では、1枚の板から作品を作り、普段なかなか使うことのない糸ノコ、金槌を手に悪戦苦闘しながらも、それぞれ満足のいく作品に充実の笑顔が見られました。

冬の森林散策では、センターで貸し出したかんじきを履いて、冬ならではの木々の冬芽や雪上を歩く動物の足跡、野鳥などをじっくり観察しながら森を散策していただきました。全国から知床を訪れた観光客にとっては、かんじきを見る機会もほとんど無いとのこと、かんじきを履いて歩くだけでも新鮮でとても楽しそうでした。

今後も年間を通してロングランイベントを開催していく予定ですので、ホームページなどをご確認の上是非参加して下さい。きっと良い思い出になりますよ。



斜里・子ども芸術フェスティバル 紙すき体験『牛乳パックでハガキを作ろう!』を開催



2月26日(土)斜里町ゆめホール知床にて、「第10回斜里・子ども芸術フェスティバル」(主催:斜里・子ども芸術フェスティバル実行委員会)におけるワークショップとして紙すき体験を開催し、斜里町の親子22名に参加いただきました。子ども芸術フェスティバルは「子どもたちに日常触れることのない文化に接する機会を提供する」というコンセプトのもと毎年開催されているもので、今年のテーマは「紙で楽しもう!レッツ紙ニュケーション!」。当センターでは紙と木、森林との関係について子どもたちに学んでもらおうと出展したものです。



まずはじめに、「紙がどうやって作られるのか」「木を使うとどんな良いことがあるのか」等、紙と木、森林との関係をクイズ形式で学んだ後、牛乳パックからパルプを取り出し、ハガキ作りを行いました。



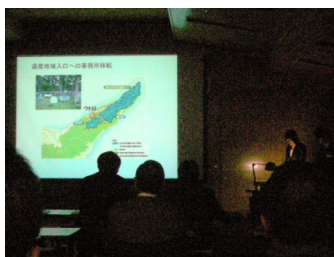
「本当にこの牛乳パックからハガキができるの?」と不思議そうな顔をしていた子ども達でしたが、綺麗なハガキを作ろうと何度も何度も一生懸命すいていました。そして、木の葉が一面にちりばめられたオリジナルの手作りハガキが完成すると、とても満足した表情を見せ持ち帰ってくれました。当センターでは、これからも地域のイベント等に積極的に参加し、森林・林業・木材の啓発活動に努めていきたいと思ひます。

初めての紙すきに興味津々の子どもたち

平成22年度北の国・森林づくり技術交流発表会

「知床からの情報発信～イベント集客区域の広域化への検討～」を報告

平成22年度北の国・森林づくり技術交流発表会が北海道森林管理局で1月27～28日に開催され、全道各地の代表者から各部門計34件、特別発表3件の発表がありました。当センターからは「知床からの情報発信～イベント集客区域の広域化への検討～」というテーマで発表を行いました。



発表内容はイベント集客区域の広域化に取り組んだ背景、対策の検討と今年度の実施活動と結果を報告しました。当センター施設来館者への対応の充実や各種団体・イベントとの連携、ホームページを使用しての情報発信を実施し、結果的に広域からのイベント参加者の増加や、相乗効果として若い世代や地元住民の施設利用の増加が見られました。

当センターのホームページによる広報活動では、ブログやライブカメラを通してアクセス数の増加が見られ、現在月に18,000件、1日平均600名の方にご覧いただいている状況です。今後も、多くの方にご覧いただける媒体の利用や多様な連携をとおして、より効果的・効率的な広報活動を実施し、国民の皆様の要望に応える知床森林センターとして情報発信に努めていきたいと思ひます。

イベント集客区域の広域化に向けた取り組みの方向性

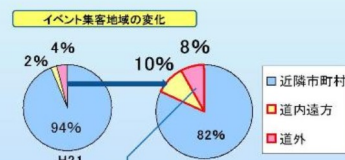
- I. 知床ボランティア活動施設・野営場に訪れた方への情報発信及びサービス
- II. 各地で開催されるイベントへ出展・参加しての広報活動
- III. 各種団体等との連携・タイアップ及びホームページを使用しての情報発信

インターネットを活用した継続した情報発信

ブログライブカメラ 他機関のHP

継続的に新鮮な情報を提供、いつでもどこでも知床を閲覧できる

□ 取り組みの効果



東京都、千葉県、愛知県、大阪府など、イベント集客区域が広域化

知床 は今

今年は流氷の接岸が早く、しかも3月までロングランで滞在頂いた（流氷のことです。）ことで、ウトロの街も観光客で賑わいました。



お陰様で、かんじきの貸し出しも好調で、来年度は本格的にイベントとしての地位を確立させようと考えています。

1月の末から始めたアイスキャンドルは、観光客から好評を博しましたが、2月下旬で暖気温による結氷不足により終了しました。しかし、これもまた来年度への弾みとなりました。

森林センターがウトロに移転し、迎える3年度目となります。地元では着実に認知度を高めていますし、ホームページを活用したPRにおいても当センターのホームページは、農林水産省林野庁の組織144のホームページ中、第1位のアクセス数を誇っています。

木育コーナーも拡充させてきていますし、今後、施設内展示の大幅な見直しを行う予定です。三段飛びで言うと、ジャンプの年度がやってきます。若干、助走の距離が短かったり、スピードが遅かったりしていますが、アキレス腱を切らないように注意しながら、思い切ったジャンプをしようと思う昨今です。（ヒ）

森林ボランティア活動施設から

知床森林センターでは、木により一層、触れ・親しみ・理解を深めて頂くため、道産材の木材を使用し「木のポンホロ沼」を設置しました。

名前は知床自然観察教育林にあるポンホロ沼に由来し、大きくなったり、小さくなったりと大きさを自由に変えることができます。

木のポンホロ沼には木球が敷き詰められているので、子ども達でも安全に遊ぶことができ、木の温もりを感じることができます。

知床森林センターでは、来年度も様々なイベントを通じ森林・林業・木材の啓発活動を実施していきますので、知床にお越しの際は是非お立ち寄りください。



「木のポンホロ沼」

平成23年度のイベントのお知らせ

平成22年度は、森林散策イベントを中心とした「森林レクリエーションin知床」や木工などクラフト系イベントを中心とした「森とのふれあい」を計10回、その他ロングランイベントや地域イベントへの出展等を行い、多くの皆様にご参加いただき、森林・林業に対する関心・理解を深めていただくことができました。

平成23年度におきましても、知床世界自然遺産の森林などをフィールドに、これまでにない新たな企画や様々なイベントを予定しています。イベントスケジュールや詳細については、ホームページ（4月上旬）や広報紙5月号で発表します。皆様の参加をお待ちしております！



☆ 知床森林センターホームページ。「ブログ・知床の四季」では旬な知床情報をお届けしています！
→ <http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/siretoko/index.html>



この広報誌は道産間伐材を使用しています。